

【資料5】

府中市学校施設
改築・長寿命化改修計画

（概要版）



学校施設の79%が築40年を
経過しています

老朽化対策は「**改築**」を基本に実施

- 改築の目安は、おおむね築60年から65年
- 築年数が異なる建物も全体的に改築

現状

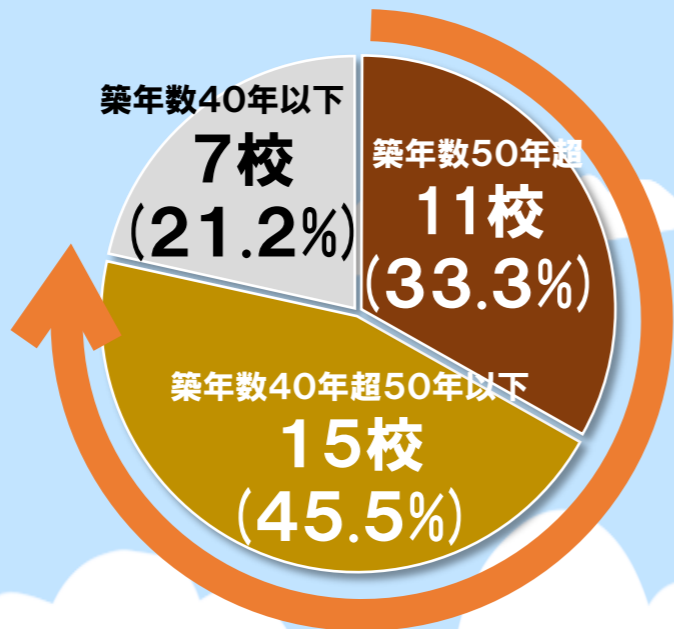
築40年超
79%

老朽化対策調査が完了した
平成28年度末での最も
古い校舎の築年数の割合

劣化事例1「八小：内装天井／壁のひび割れ／設備」



劣化事例2「一中：屋上防水／柱のひび割れ／軒先」



対応

令和2年2月策定

学校施設改築・長寿命化改修計画

公立学校として、できる限り公平な教育環境を確保するとともに、
学校施設が地域から求められる様々な役割や機能を果たしていきます

1 老朽化対策の順番
▶ 概要版3ページ

2 教育環境の充実
▶ 概要版4ページ

3 地域に求められる役割
▶ 概要版5ページ

4 整備方針の作成
▶ 概要版6ページ

5 学校施設の整備スケジュールと費用
▶ 概要版7ページ

計画的かつ着実な老朽化対策を実施

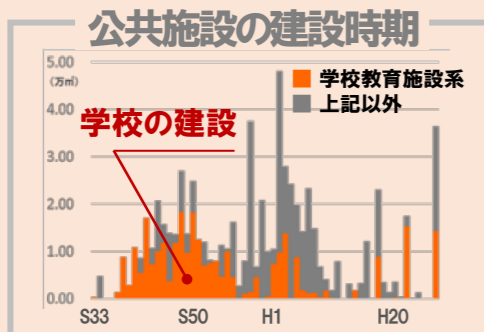


① 老朽化対策の順番

▶ 計画69ページ～73ページ

■老朽化状況を踏まえた対策

現状



- 昭和30年代に既存の木造校舎を鉄筋コンクリート造へ建て替えた
- その後、昭和50年代にかけて、新しい学校の建設や校舎の増築を集中的に行ってきた
- これらの学校施設は建築後40年以上が経過し、一斉に老朽化している
- 児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、老朽化対策が重要かつ喫緊の課題

対応

- 築年数や劣化状況を総合的に評価して、グループ分けします

早期改築着手校

〔小学校1校
中学校1校〕

八小、一中

第1グループ

〔小学校8校
中学校2校〕

三小、六小 [次期実施校]

四小・五小・七小・九小・武蔵台小・矢崎小
二中・六中

第2グループ

〔小学校13校
中学校8校〕

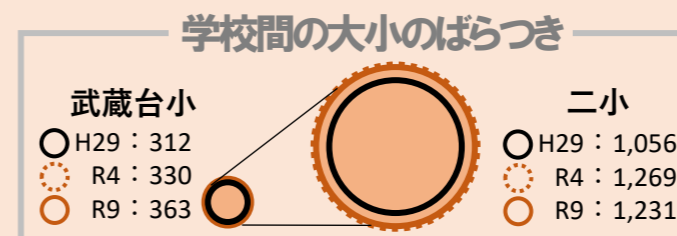
一小・二小・十小・住吉小・新町小・本宿小・白糸台小・
若松小・小柳小・南白糸台小・四谷小・南町小・日新小
三中・四中・五中・七中・八中・九中・十中・浅間中

② 教育環境の充実

▶ 計画74ページ～75ページ

■公平な教育環境

現状



- 学校間の児童・生徒数の差が拡大している
- 学校ごとに教室等の大きさや種類、室数などにも違いがある

対応

- 学校施設の改築に当たり、学校施設全体や建物、配置、各諸室の整備内容や基準を整備方針として示す

■学校ごとの独自性

現状

- 地域の伝統や文化活動に根ざした学校独自の取り組みがある

対応

- 学校独自の教育を、各学校の改築時の基本計画や基本設計で反映



八小のピロティ



白糸台小の校庭芝生化

■新しい教育ニーズ

現状

- 新しい教育ニーズへの対応が求められている

対応

- ICT教育の推進・特別支援教育の推進

③ 地域に求められる役割

▶ 計画76ページ～78ページ

■避難所

- 現状**
- 温熱環境などに配慮した要援護者向け避難所スペースがない
 - 体育館の入り口に受付を設けるスペースがない
 - 防災倉庫と体育館が離れている

- 対応**
- これまでの体育館の開放に加え、新たに多目的ルーム・家庭科室・会議室・和室を開放する
 - 避難者の受付・管理ができるスペースを設ける
 - 体育館から近い位置に、防災倉庫を設ける

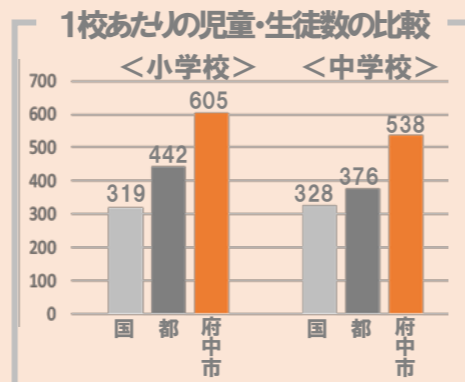
■地域開放

- 現状**
- 各学校で、校庭・体育館・武道場の開放は稼働率が高い
 - ほとんどの学校で教室の開放を行っていない

- 対応**
- 学校教育上、支障がない範囲で開放範囲を拡充
 - セキュリティ区画を設け、開放しやすい設えとする

■複合化

- 現状**
- 学童クラブは一部の学校で校地の外に設置
 - 放課後子ども教室は学校ごとに設置場所が異なる
 - 1校当たりの児童・生徒数が多い
 - 1人当たりの校舎面積が小さい



- 対応**
- 当面は、「学童クラブ」を校地内に設置し、「放課後子ども教室」専用の実施場所を確保
 - 将来は児童・生徒数が大きく減少した場合、他の公共施設との複合化を検討

④ 整備方針の作成

▶ 計画86ページ～119ページ

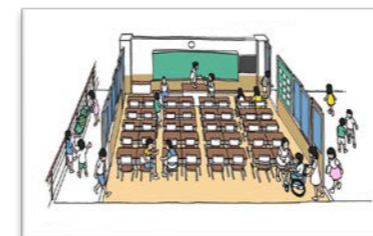
■整備方針

● 学校全体や各諸室などの整備方針を定めます

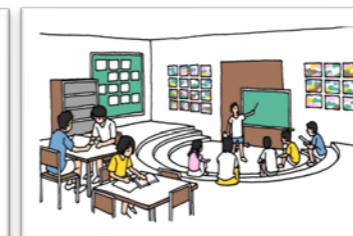
学校施設の全体整備方針

(1) 安全・安心な学校	<ul style="list-style-type: none"> ① 子供たちの安全性に配慮した学校施設を整備します ② 十分な防犯性を備えた安心な施設環境を確保します
(2) 健康で快適な学校	<ul style="list-style-type: none"> ① 採光、通風、換気、温度、遮音性等に配慮し、健康で快適な学習環境を整備します ② 温かみのある、落ち着いた空間づくりに配慮します ③ ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使用しやすい環境を整備します
(3) 学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 一人一人に応じたきめ細やかな学習指導や複数の学級での学習・交流活動ができるよう、多様な学習形態に対応できる学校施設を整備します ② 子供たちが主体的・対話的で深い学びができる学習環境を整備します ③ 子供たちの体力や運動技能の向上に資するよう、運動のしやすさに配慮した学校施設を整備します ④ 特別支援教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに対応できる多様な学習環境を整備するとともに、誰もが相互に理解し学び合うことができる環境を整備します
(4) 子供たちの成長を支える学校	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校と家庭や地域との連携・協働が図れる環境を整備します ② 各学校の地域の特色や独自性をいかし、愛着の持てる学校施設を整備します ③ 教職員がそれぞれの力を発揮し互いに連携し合える、働きやすい環境を整備します ④ 学校管理職がリーダーシップを発揮し、学校経営のしやすい環境を整備します
(5) 地域コミュニティの拠点となる学校	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域住民の生涯学習・文化・スポーツの拠点となるよう、学校施設の有効活用を図ります ② 災害時の避難所運営を踏まえた施設の整備を行います
(6) 持続可能な学校整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 計画的かつ確実に老朽化対策を実施するため、長期的な財政見通しを考慮し、財政負担の軽減に努めた学校施設を整備します ② 改築を実施した学校の状況を点検・評価し、その結果を踏まえた学校施設を整備します ③ 施設環境の良好な維持と維持管理コストの低減が図れるよう、改築実施後のメンテナンスに配慮した学校施設を整備します
(7) 将来の人口動態などに柔軟に対応できる学校	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の人口動態などに応じて、各教室や建物などを他の用途に転用しやすい学校施設を整備します
(8) 環境に配慮した学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ① 省エネルギー・省資源型の学校施設を整備します

● 各諸室の整備方針は計画90ページ～119ページに掲載しています



普通教室



メディアセンター



校務センター



校長室 (学校経営ルーム)

⑤ 学校施設の整備スケジュールと費用

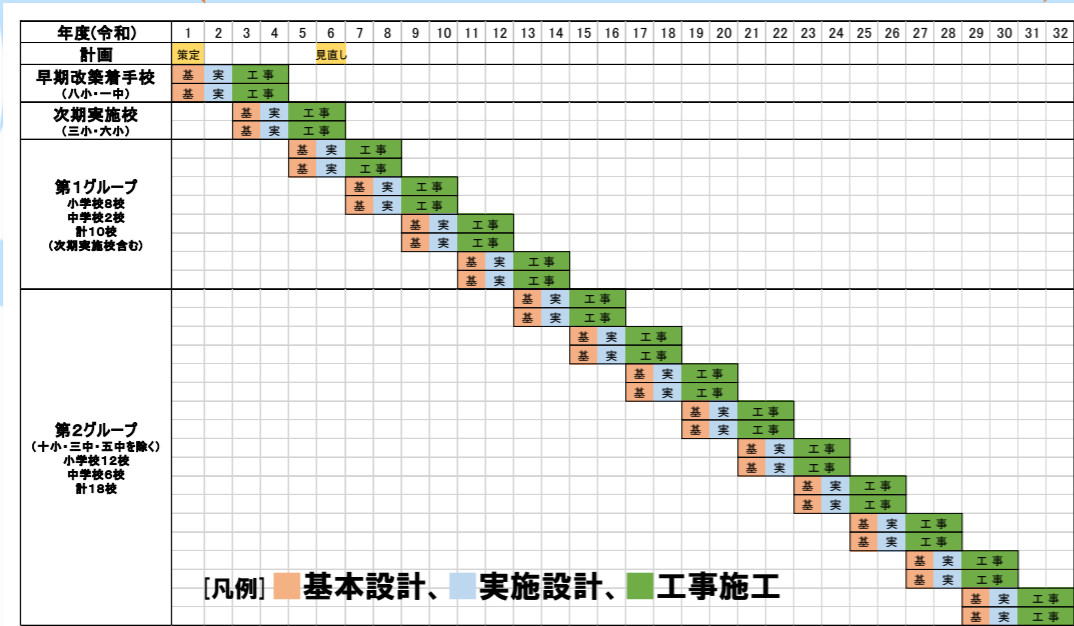
▶ 計画81ページ～84ページ

整備スケジュール

- 2年ごとに2校のペースで学校施設の整備を進めていきます
- 1校の改築に係る整備期間を、設計期間で2年、工事期間で2年の4年と設定します

← 整備期間: 32年間 →

↑
2年ごと
2校のペース
↓



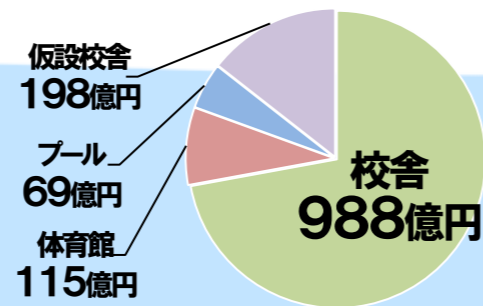
整備費用

30校の改築費用は

総額 **1,370億円**

- 良好な教育環境を確保しつつ、改築費や改築後の維持管理費の縮減

整備費用の内訳



府中市学校施設改築・長寿命化改修計画（概要版）

発行日 令和2年2月
 発行 府中市
 編集 府中市教育部学校施設課
 〒183-8703
 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電話: 042-364-4111 (代表)
 042-335-4280 (直通)
 FAX: 042-334-0946
 ホームページ: <http://www.city.fuchu.tokyo.jp>

※府中市学校施設改築・長寿命化改修計画の全文は、府中市ホームページで公開しています。市政情報公開室、市内各図書館などでもご覧いただけます。